

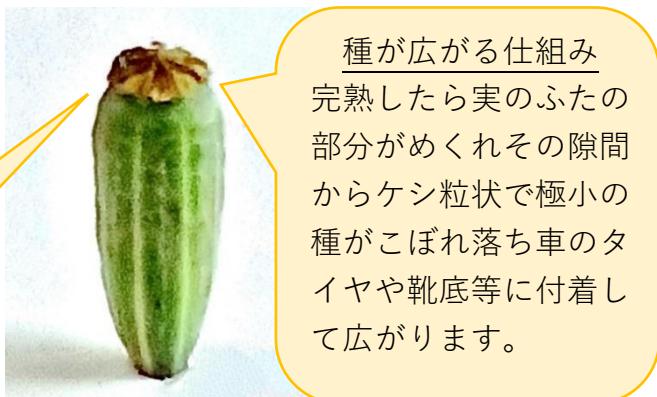
外来植物ナガミヒナゲシが鎌倉市内でも繁殖し勢力を広げています。ご注意ください!

ナガミヒナゲシはポピーによく似た花びらがオレンジ色の草花ですが繁殖力が強く周辺の生態系に悪影響を及ぼすおそれがあるので早期の駆除が有効です。

【ナガミヒナゲシ（長実雛芥子）の特徴と駆除 私たちにできること】

最近外来植物ナガミヒナゲシが市内でも道ばたや空き地などで急速な広がりを見せていました。花の時期は4月から5月花びらは4枚で種ができる前に駆除するのがベストです。花が終わった後細長い実になり約1600粒もの種ができ驚くほどの種の多さが繁殖力につながる特徴をもっています。また根から他の植物の生育を妨げる成分を出すことから生態系にも影響を与えかねません。

- ヨーロッパ原産の外来植物です。
日当たりの良いところを好み
どんな土でも育ちます。
- 葉は春菊に似ていて冬期はタンポポのように地面に這いつくばり葉っぱを広げます。
- 最近拡散防止に力を入れている自治体が増えています。



【駆除するときの注意点】

- 駆除する時期 花が咲き実が未熟な時期の4月頃まで駆除するのが最適です。
- 駆除するとき 折れた茎から出る液で皮膚がかぶれることがあるので作業時は長袖と作業手袋を着用し根っこから引き抜くようにしましょう。
- 駆除後の処理 ビニール袋に入れ口をしばり燃やすごみの日に出してください。

鎌倉市環境保全課・鎌倉を美しくする会

【問合せ先】鎌倉市 0467(61)3389 / bika@city.kamakura.kanagawa.jp